



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月11日

上場会社名 株式会社エプコ 上場取引所 東
コード番号 2311 URL <http://www.epco.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役グループCEO (氏名) 岩崎 辰之
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役CFO (氏名) 吉原 信一郎 (TEL) 03-6853-9165
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績 (2024年1月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	4,190	12.9	266	91.7	184	△14.0	84	△70.3
2023年12月期第3四半期	3,712	3.4	139	96.7	215	23.7	284	24.5

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 △125百万円 (—%) 2023年12月期第3四半期 417百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	9.44	—
2023年12月期第3四半期	31.82	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	5,418	4,275	78.9
2023年12月期	5,602	4,677	83.5

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 4,275百万円 2023年12月期 4,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	14.00	—	18.00	32.00
2024年12月期	—	14.00	—		
2024年12月期(予想)				18.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,660	11.9	273	68.8	411	△3.3	485	△22.6	54.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期3Q	9,316,000株	2023年12月期	9,316,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	369,108株	2023年12月期	379,926株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期3Q	8,942,084株	2023年12月期3Q	8,930,586株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境が改善するなど、緩やかな回復の動きが見られました。一方、ロシアウクライナ情勢や中東情勢の長期化に伴う資源価格の高騰は依然として続いており、引き続き先行き不透明な状況にあります。

また、当社グループが主に関連する住宅産業におきましては、当社事業が主に関連する新設住宅着工戸数(持家)において、前年同月比で減少が継続しており、予断を許さない状況であると認識しております。

当社グループは、住宅産業を取り巻く厳しい外部経営環境を踏まえ、住宅ライフサイクル全体の業務効率化に資するサービスの開発に注力しております。また、時代の潮流に合致した再生可能エネルギーに関するサービスの拡大を進めることで、事業ポートフォリオの転換を図り、世界的な課題である脱炭素社会の実現に向けて貢献してまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,190百万円(前年同四半期比12.9%増)、営業利益は266百万円(前年同四半期比91.7%増)となりました。一方、国内外の関連会社に対する持分法による投資損失96百万円が発生したことにより、経常利益は184百万円(前年同四半期比14.0%減)となりました。また、前第3四半期連結累計期間に発生した投資有価証券売却益及び関係会社出資金売却益が当第3四半期連結累計期間では発生しなかったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は84百万円(前年同四半期比70.3%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 再エネサービス

当第3四半期連結累計期間は、株式会社ENE'sにおいて太陽光発電、蓄電池及び電気自動車向け充電器関連の設置工事請負が増加したことにより、外部顧客への売上高1,005百万円(前年同四半期比26.8%増)となりました。

一方、持分法による投資損益は、国内においては、TEPCOホームテック株式会社において、従業員の増員や施工研修施設の開設等の事業拡大を見据えた戦略的な先行投資による費用が増加したことにより、持分法による投資損益は減益(37百万円、前年同四半期比77.8%減)となりました。また、海外においては、海外市場における太陽光発電事業の立上げ準備を推進し、CHINA LESSO GROUPとの合弁会社に関する持分法による投資損益が減益(△113百万円、前年同四半期は△66百万円)となった結果、経常損失は38百万円(前年同四半期は101百万円の経常利益)となりました。

② メンテナンスサービス

当第3四半期連結累計期間は、TEPCOホームテック株式会社をはじめとするエネルギー系企業からの受託案件が増加した結果、外部顧客への売上高は1,532百万円(前年同四半期比7.5%増)となりました。また、災害に強いメンテナンスセンター構築に向けた複数拠点化投資による営業費用の増加を、前述の増収効果が上回った結果、経常利益は254百万円(前年同四半期比31.6%増)となりました。

③ 設計サービス

当第3四半期連結累計期間は、電気自動車向け充電器の設置に関する申請図作成業務、BIM導入に関するコンサルティング業務及び太陽光関連システム開発業務の受託が増加したこと等により、外部顧客への売上高は1,652百万円(前年同四半期比10.7%増)となりました。また、円安の進行に起因する中国子会社における営業費用の増加を、前述の増収効果が上回ったことにより、経常利益は277百万円(前年同四半期比28.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて22.1%増加し、3,063百万円となりました。これは主として、現金及び預金が634百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて23.9%減少し、2,354百万円となりました。これは主として、保有株式の時価評価により、投資有価証券が373百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、3.3%減少し、5,418百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて52.3%増加し、1,020百万円となりました。これは主として、短期借入金が増加した一方で、未払法人税等が納付により108百万円減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて51.9%減少し、122百万円となりました。これは主として、保有株式の時価評価により、繰延税金負債が112百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末と比べて23.6%増加し、1,142百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて8.6%減少し、4,275百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益84百万円を計上した一方で、保有株式の時価評価によるその他有価証券評価差額金244百万円の減少及び配当金の支払286百万円が発生したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月13日付の「2023年12月期 決算短信 [日本基準] (連結)」により公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,502,405	2,136,962
受取手形及び売掛金	658,494	663,205
仕掛品	203,040	120,184
その他	145,639	143,825
貸倒引当金	△509	△478
流動資産合計	2,509,069	3,063,700
固定資産		
有形固定資産	522,593	507,431
無形固定資産	53,255	35,529
投資その他の資産		
投資有価証券	596,800	223,360
関係会社株式	671,283	688,021
関係会社出資金	471,080	383,350
繰延税金資産	25,020	20,504
その他	753,368	496,763
投資その他の資産合計	2,517,552	1,811,999
固定資産合計	3,093,401	2,354,960
資産合計	5,602,471	5,418,660
負債の部		
流動負債		
買掛金	122,814	77,713
短期借入金	—	500,000
未払法人税等	119,464	10,582
賞与引当金	20,603	67,971
その他	407,177	364,255
流動負債合計	670,059	1,020,523
固定負債		
退職給付に係る負債	42,622	32,411
長期末払金	11,360	11,360
繰延税金負債	136,484	24,156
その他	64,016	54,414
固定負債合計	254,483	122,342
負債合計	924,542	1,142,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	87,232	87,232
資本剰余金	122,909	126,477
利益剰余金	3,981,038	3,779,304
自己株式	△190,768	△185,336
株主資本合計	4,000,411	3,807,677
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	320,397	75,615
為替換算調整勘定	357,120	392,501
その他の包括利益累計額合計	677,517	468,117
純資産合計	4,677,929	4,275,794
負債純資産合計	5,602,471	5,418,660

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	3,712,074	4,190,633
売上原価	2,737,073	2,879,908
売上総利益	975,001	1,310,724
販売費及び一般管理費	835,876	1,044,046
営業利益	139,125	266,678
営業外収益		
受取利息	9,057	8,567
持分法による投資利益	76,534	—
補助金収入	2,329	9,872
その他	773	1,309
営業外収益合計	88,694	19,749
営業外費用		
支払利息	1,400	1,510
持分法による投資損失	—	96,400
為替差損	11,417	3,344
その他	—	348
営業外費用合計	12,817	101,603
経常利益	215,002	184,824
特別利益		
固定資産売却益	—	149
関係会社出資金売却益	68,571	—
投資有価証券売却益	110,173	—
特別利益合計	178,744	149
特別損失		
固定資産除売却損	487	1,171
特別損失合計	487	1,171
税金等調整前四半期純利益	393,258	183,803
法人税、住民税及び事業税	109,657	78,585
法人税等調整額	△556	20,846
法人税等合計	109,100	99,431
四半期純利益	284,158	84,371
親会社株主に帰属する四半期純利益	284,158	84,371

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	284,158	84,371
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,202	△244,781
為替換算調整勘定	72,151	11,993
持分法適用会社に対する持分相当額	21,310	23,387
その他の包括利益合計	133,664	△209,400
四半期包括利益	417,822	△125,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	417,822	△125,029
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	再エネ サービス	メンテナンス サービス	設計 サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	793,112	1,425,864	1,493,097	3,712,074	—	3,712,074
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	793,112	1,425,864	1,493,097	3,712,074	—	3,712,074
セグメント利益又は損失(△)	101,426	193,761	215,945	511,133	△296,131	215,002

(注) 1. セグメント利益の調整額△296,131千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△295,473千円及び営業外損益項目(持分法による投資損益を除く)△657千円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	再エネ サービス	メンテナンス サービス	設計 サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,005,571	1,532,382	1,652,678	4,190,633	-	4,190,633
セグメント間の内部 売上高又は振替高	323	3,633	5,060	9,016	△9,016	-
計	1,005,894	1,536,016	1,657,738	4,199,650	△9,016	4,190,633
セグメント利益又は損失(△)	△38,403	254,926	277,445	493,968	△309,144	184,824

(注) 1. セグメント利益の調整額△309,144千円は、セグメント間取引消去△1,460千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△322,230千円及び営業外損益項目(持分法による投資損益を除く)14,546千円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	107,360千円	92,676千円